

農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

タイトル 地域に根ざして 25 年—食農教育—

J A 名 津軽みらい（青森県）

1 動機 （経緯）	当 J A 管内はコメ・りんごおよび桃を主とした一次産業を主体とした地域です。地元の保育園・小学校からの依頼を受け、授業の一環として農業指導を行っています。
2 概要	当 J A では平成 3 年 4 月より、保育園児および管内小学生（2 学年生・4 学年生・6 学年生対象）を対象に授業の一環として、農産物を育てる楽しさや苦勞、食べ物への感謝、農業に対する学習を深めてもらうため、組合員の協力を得て、作付けから収穫までを J A 職員が指導する「ふれあいわんぱく農園」を開園しています。（主としてさつまいもを栽培。） また、小学生高学年（5・6 学年生対象）には「バケツ苗」の栽培方法等を教えています。 （わんぱく農園やバケツ苗は今年で 25 年目の取組みです。）
3 成果 （効果）	収穫したさつまいもやコメは昼食時に食べてもらい、食べ物への感謝について考えてもらいました。 また、収穫した農作物は子供達が持ち帰り、各家庭でも食べてもらいました。
4 今後の予定 （課題）	家業を継ぐ次世代は近年減少しており、農業に関心があった子供たちも年齢を追うごとに関心が薄れている状態です。行政（国・市）・J A ・生産者が三位一体となった取組みを行うよう検討してまいります。

